

## 設立趣意書

現在ほど社会、経済情勢の変革の激しい時はない。福祉ニーズは多様化し、暖かい人間の触れ合いの場、相互扶助の面での地域社会の持つ機能の重要性が見直され、強化が求められているところである。

われわれ大阪ガスグループは、近畿2府4県のお客さまの日常生活に不可欠の都市ガスをお送りしている公益事業に携わるものとして、誠実にガス事業の遂行、サービスの向上に努めるだけでなく、われわれグループの成長の土壌となった地域社会に感謝の心を表すため、地域社会の福祉の向上に、これまでも貢献してきており、また今後も一層大きな役割を果たしたいと願っている。

いま、地域社会が解決しなければならない最も大きな課題は、急速に進む人口構造の高齢化への対応であろう。わが国においては、先進諸国がこれまで経験したことのない速さで高齢化が進んでいる。高齢者は、多年にわたり社会の発展に寄与された功労者であり、深い人生経験を生かして社会の一員として、いつまでも健康で生きがいのある生活をおくるよう援助することが社会の責務であろう。

しかし、現実には高齢人口の増加、扶養意識の変革、核家族化の進展、産業・就業構造の変化、高齢者世帯の増加などなど高齢者を巡る環境は、ますます複雑化し、困難化していくことが予想される。

われわれグループでは大阪ガスが本年創業80年を迎える。この記念すべき年に当たりこれまで果たしてきた福祉活動をより組織的、継続的に発展させるため、本格的な高齢化社会の到来に備えて、高齢者を対象にした福祉活動への資金援助や、高齢者の健康の維持増進に資することを目的とする福祉財団を設立して、高齢者の福祉の向上と充実のために役立ちたいと願っている。